

人権

～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.535 「災害と人権」

近年、日本各地で大規模な自然災害が頻発しています。その甚大な被害は、私たちの日常生活や地域社会に深刻な混乱をもたらします。特に、高齢者や障がい者、外国人といった支援を必要とする人々はより厳しい状況に置かれがちです。災害は平時には見えにくい社会の弱さを浮き彫りにし、時として人々の権利をおびやかす問題を引き起こします。

その一例が、避難所での不十分な医療や過度なストレスによって命が失われる「災害関連死」です。適切な生活環境や医療を受ける権利が保障されないことで起こる、深刻な人権問題といえるでしょう。こうした事態を防ぐため、国は災害救助法などを改正し、必要な支援を速やかに受けられるように法的整備を進めています。

行政による支援の充実は「誰一人取り残さない防災」を目指す上で不可欠です。しかし、法律や行政の力だけで全てを解決できるわけではありません。いざという時、真に力を発揮するのは、皆さんの地域における日頃からの「顔の見える関係づくり」です。これを後押しするため、私たちの町でも自主防災組織の設立を支援するなど、地域での協力体制の強化に取り組んでいます。

人権が尊重される社会とは、多様な背景を持つ人々が互いの存在を認め合い、支え合える社会です。まずは自分の暮らす地域に関心を持ち、ご近所とのあいさつや声かけから「顔の見える関係」を築きましょう。そうした日々のつながりが災害への備えを「自分ごと」として捉えるきっかけとなり、いざという時に命を助け、人権を守る社会を築く、確かな土台となるのです。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

- いじめについて
益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770
- さまざまな人権問題
益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400

同和教育、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

図 御船警察署
消費生活相談室 ☎ 282・11110
☎ 286・3210

令和7年 町内の 事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	10月中	累計
人身事故	5	50
物損事故	76	784
空き巣	0	2
自販機狙い	0	0
万引き	0	13
オートバイ盗	0	0
自転車盗	1	4
車上狙い	0	2



何かと慌ただしい年末年始。帰省や旅行、忘年会など楽しい行事が盛りだくさんの季節です。しかし、この時期は犯罪や交通事故が増える傾向にあります。以下のことに注意して、明るい新年を迎えましょう。

■年末年始に多発する犯罪
高額な現金を持ち歩く機会が増えるため、それを狙った犯罪が多発します。不審な人物や車を見かけた際は、ためらわずに110番通報をお願いします。地域ぐるみで犯罪を未然に防ぎましょう。

■交通事故の防止
帰省や旅行などで長距離を運転する際、知らず知らずのうちに疲労が蓄積し、思わぬ事故につながります。体調に合わせて、こまめな休憩を心掛けましょう。万が一事故の当事者になった場合、トラブルを避けるためにも、事故の大小にかかわらず必ず警察に届けましょう。

図 益城西原消防署 ☎ 286・2119

令和7年 町内の火災等発生状況

発生区分	10月中	累計
建物	0	6
車両	0	2
林野	0	0
その他	1	2
警戒出動	2	18
救急出動	136	1,528
救助出動	0	8



電気不要で経済的、運転音も静か。さらに天板でお湯を沸かせば加湿も可能。便利な石油ストーブですが、使い方を誤ると火災につながる危険な側面も持っています。正しい使い方を確認しましょう。

■石油ストーブによる火災事例と対策
【事例1】給油時の不注意
石油ストーブを消火せずに給油し、タンクのふたをしつかり閉めていなかったため、こぼれた灯油に引火した。
↓給油は必ず消火してから行いましょう。給油後は、タンクのふたが確実に閉まっているか確認してください。
【事例2】周囲の可燃物への引火
ストーブの上に干していた洗濯物が落ち、引火した。
↓ストーブの周囲や上部には、燃えやすいものを置いたり近づけたりしないようにしましょう。

◆地域安全ニュース 明るい新年を迎えるために

◆防火と救急 石油ストーブの落とし穴

益城の 文芸

短歌

季節ごとに生き物たちの糧となる野の名も知らぬ花や熱れ実は 安永 守住 孝子
 昼時は汗流るるも仲秋の月は輝きすすきもゆれる 惣領 新居 露子
 小雨降る朝の路面が濡れている当たるライトがまぶしいね 馬水 増田 訓子
 思ひでの万年筆を手にとりてそぞろ歩くは吾の来た道 木山 赤城 香織
 二重虹今出ていると隣りから電話もらいて飛び出す庭に 木山 本田 龍子
 町広報わんぱく娘土俵入り凜々しい顔に軍配上げる 惣領 甲斐 道夫
 年老いてパッチワークにいそしめる妻の背中夕の日の差す 惣領 垣野 幸一
 秋の夜に澄みきりし空を見上ぐれば星くずの中にスイ星捜す 広崎 日野 ヒロ子
 秋の陽がいり込む室にほととぎす飾れどなおに寂しさつる 広崎 大原 郁
 涙目で無垢の打掛身にまとう妻によく似た孫の嫁入り 馬水 増岡 伸禧
 新米をかみしめながら亡き友の面影思ひ妻に感謝す 惣領 清水 宏
 秋声や水底暗き河童淵 赤井 玉春 勇樹
 木の実落つ母の素話ほつほつと 古閑 今村 恒心
 鎌を研ぐ秋の初風吹いてより 広崎 大石 高義
 墓じまひ決めて見上ぐる秋の雲 福富 井手 悦子
 家守る姉に白髪や星月夜 安永 福山 友子
 夕空へ秋刀魚焼く香の立ち上る 広崎 大原 郁
 山住や思ひ切り囁む柿美味し 西原村 中原 義一
 いただきし葎をお供の朝散歩 惣領 野宮 逸吉
 佐々木投手見守る母になりきつて 木山 本田 龍子
 流鏝馬が目玉故郷の秋祭 惣領 阪口由美子
 令和とて演歌は昭和に如くは無し 馬水 増岡 伸禧

俳句 川柳 小春選

投稿は①氏名(ペンネームの場合はふりがなも)②住所③電話番号④作品を明記し、

メール(mashiki890@gmail.com)、はがきで役場広報係に送ってください。締切は毎月10日(必着)。